

## 今年、灯台150周年です

現在、全国にある灯台の始まりは、明治の初めに導入された洋式灯台にさかのぼります。

江戸末期、英・米・仏・蘭の四ヶ国が、関門海峡を舞台に長州藩と戦った下関戦争の賠償の一環として、開港した各港への灯台の設置を約束させ、1番目に建設された灯台が、神奈川県横須賀市にある観音埼灯台です。

明治元年11月1日に、この観音埼灯台の建設を着手しており、この年を基点として、平成30年は、灯台の近代化150周年を迎えます。

### 対馬の主な灯台

灯台150周年にあたり、対馬に設置されている主な灯台を毎月順番にご紹介します。

#### その3 豆酏埼灯台

豆酏埼灯台は、明治42年、対馬南端豆酏埼の南方にある岩礁群のほぼ最先端のミヨ一瀬上に建設されました。

当初の豆酏埼灯台は、無筋コンクリート造りで、海面から頂部まで23メートルの高さがあり、威容を誇っていましたが、保守管理を行うのに非常に危険がともなうことや光力を増大する要望があったことから、昭和62年3月に現在の豆酏埼に新たに設置され、このミヨ一瀬上の灯塔は、豆酏埼灯台から照射灯の副標として照らされています。



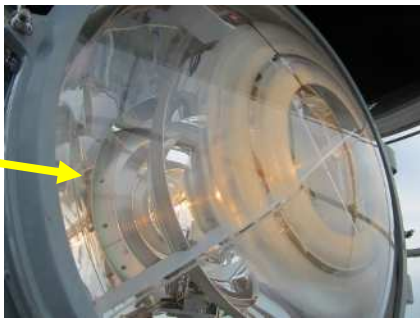
ミヨ一瀬照射灯副標（当初の豆酏埼灯台）



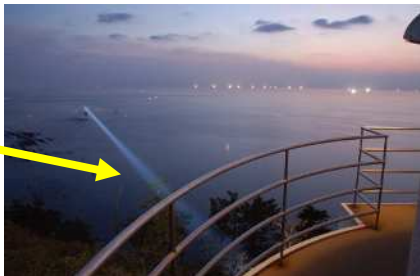
現在の豆酏埼灯台



灯台のレンズ



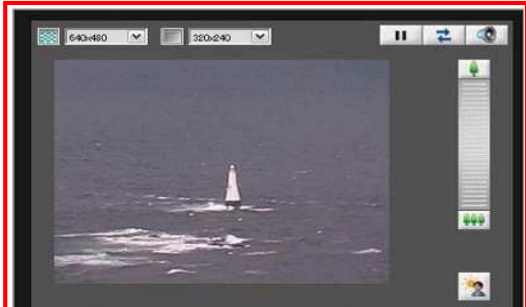
照射灯  
(照射灯の光芒)



豆酩埜灯台の光の強さは、97万カンデラで、約47キロメートル先まで光が届きます。  
また、豆酩埜ミヨ一瀨照射灯は、1.2キロメートル先のミヨ一瀨の上に設置された標柱を照らしています。



豆酩埜灯台と豆酩埜ミヨ一瀨照射灯の光芒です。  
照射灯の電球は、キセノンランプを使用しており、青白い光を放ちます。



豆酩埜灯台で観測した気象情報（風向、風速）をインターネット等で提供しています。  
また、豆酩埜灯台にはライブカメラを設置しており、海の様子を見ることができます。



豆酩埜灯台の周辺は、対馬市の遊歩道があり、展望所や弾薬庫跡があります。